

東京基督教大学 研究データポリシー

2025 年 5 月制定
研究支援センター

東京基督教大学（以下、「本学」という。）は、建学の精神に基づき、養成する人材像として「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」を掲げ、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観に立つリベラルアーツ教育を通して、教会と社会に仕える教会教職者と信徒の献身者を育成することをめざしている。

上記の理念を踏まえ、本学の教育の根幹である研究活動について、研究データの適切な管理、公開および利活用に関するポリシーを以下のとおり定める。

なお、本ポリシーは、本学における研究データの管理、公開および利活用に関する方針を示すものであり、法令、契約、本学が定める規程等の実施に制約を与えるものではない。

（研究データの定義）

1. 本ポリシーが対象とする研究データとは、本学における研究活動の過程または成果として研究者によって収集または生成されたデータを指す。

（研究データの管理）

2. 研究データを収集または生成した研究者は、それぞれの研究分野における特性を踏まえ、法的および倫理的要件にしたがって研究データを適切に管理する。

（研究データの公開等）

3. 研究者は、それぞれの研究分野における特性を踏まえ、法令、本学規程、共同研究契約等によって制限される場合を除き、可能な限り研究データを公開し、その利活用を促進する。

（大学の役割）

4. 本学は、研究者の研究データの管理、公開および利活用を支援する環境の整備を推進する。

（ポリシーの見直し）

5. 社会や学術環境の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行う。